



【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-80/2025年1月26日
【技術の名称】	石綿成形管材除去処理技術 「W・J・ビベリアン除去工法」
【依頼者(審査証明取得者)】	株式会社 アイ・エヌ・ジー

【技術概要】

既存建築物に浴室の排気管又は教室のストーブ等の排気管として垂直方向に埋設された石綿成形管材を超高圧洗浄機械とバキューム車を用いて、石綿粉じんの飛散防止を十分に考慮し、かつ、関連法令等に則って安全に除去する技術である。

本工法の特徴は、既存建物内の各階毎に単独で埋設されている石綿成形管材の上端部(屋上)より、超高圧噴射ノズルヘッドを下端部(浴室又は教室)まで挿入し、超高圧水を回転噴射させながら煙突頂版部方向に引き上げ連続的に破碎し、同時に煙突下部点検口より、破碎された汚泥状の石綿成形管材をバキューム吸引用ホースにより吸引回収する。バキューム車タンク内の破碎された汚泥状の石綿成形管材は、コンクリート固化し、産業廃棄物として専門処理業者により処理し、汚水は凝集沈殿処理し放流する。

【開発の趣旨】

既存の建築物に施工された石綿成形管材の除去に際し、石綿粉じんの飛散を防止する工法を確立し、その普及を図る。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 除去工事に際し、作業区域に隣接する部分の空気1リットル中の繊維状粒子(石綿繊維を含む)の本数がおよそ10本以下となり、汚染を抑制することができるものと判断される。
- (2) 除去工事終了後に、作業場所における空気1リットル中の繊維状粒子(石綿繊維を含む)の本数がおよそ10本以下となり、建築物利用者の安全は確保できるものと判断される。
- (3) 関連法令等に則って除去作業を行うとともに、施工中に発生のおそれがある事故を想定して、その対策を講ずることにより除去作業中の作業員の安全は確保できるものと判断される。

【本技術の問い合わせ先】

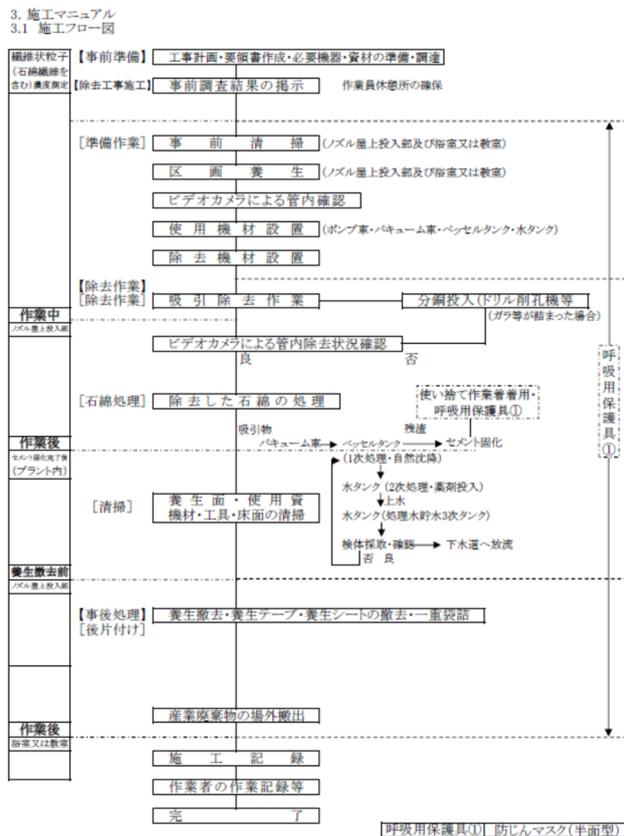
株式会社 アイ・エヌ・ジー

TEL : 04-7125-7471

FAX : 04-7125-7446

技術紹介サイト

<http://wjb.co.jp>



【施工フロー図】